

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成24年3月15日(2012.3.15)

【公開番号】特開2010-252105(P2010-252105A)

【公開日】平成22年11月4日(2010.11.4)

【年通号数】公開・登録公報2010-044

【出願番号】特願2009-100187(P2009-100187)

【国際特許分類】

H 04 N 9/07 (2006.01)

H 04 N 5/335 (2011.01)

H 04 N 5/225 (2006.01)

G 02 B 3/00 (2006.01)

【F I】

H 04 N 9/07 A

H 04 N 5/335 V

H 04 N 5/225 D

G 02 B 3/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成24年1月26日(2012.1.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

開口絞り10は、撮像レンズ11の光学的な開口絞りである。この開口絞り10は、例えば図2に示したように、その中央部に一つの円形の開口部10Aを有している。これにより、詳細は後述するが、開口絞り10を通過した全ての光線が、その進行方向に関する情報を保持するようになっている。なお、開口絞り10とマイクロレンズアレイ12との間は、距離Lとなるように配置されている。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

【画像処理部の詳細構成例】

次に、図6を参照して画像処理部14の詳細構成について説明する。図6は、画像処理部14の機能ブロック構成を表したものである。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0026】

欠陥補正部141は、撮像データD0に含まれる黒とび等の欠陥(撮像素子13の素子自体の異常に起因した欠陥)を補正するものである。クランプ処理部142は、欠陥補正部141による欠陥補正後の撮像データにおいて、各画素データの黒レベルの設定処理(

クランプ処理)を行うものである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図6】

